

フォレストニュース

植林が地球を救う

令和3年(2021)3月10日

No. 159

発行 高津啓洋

秋にも花は美しく

パラグアイ国もパンデミックのコロナ禍の中にあります。秋の今、レダ農場は元気に、植樹された木々の世話や、新しい苗木の準備に休まない日々が続いています。

【パラボラーチョ物語】

パラボラーチョは、別名「酔っぱらいの木」と言われています。その樹形から言われるのだと思います。しかし太ったお腹には、棘がたくさん生えています。街の公園にもこの木は植えられています



3月4日パラボラーチョの花

が、大木になると、棘もそれほどとがってなく、他にはないユニークな木です。是非コロナが収まっ



パラボラーチョの花



たらエコツアーに参加して、南米パンタナールの自然を満喫ください。

毎日の仕事に精を出して

植木の毎日の仕事は、草刈、水撒き、そしてポット苗つくりと、生き物ゆえに休みがありません。このようにして皆様からご支援いただいた木々が成長を続けています。



春期セミナーの延期・5月15日開催

今年最初のセミナーが、コロナ禍の中、3月開催予定が、延期となりました。

5月15日(土)に開催することが決まりました。なお、新型コロナウイルスの感染状況により、日時他の予定を変更する場合があります。

日時：5月15日(土) 10時受付、5時終了予定

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟

(小田急線参宮橋駅徒歩7分。または渋谷駅西口40番乗り場よりバス、代々木5丁目下車)

参加費：2000円(昼食を含む)当日受付にて



講師を担当する高津理事長

参加を希望される方は、Faxまたはメールにてお申し込みください。

●「レダと日本における植樹活動」

共催団体の南北米福地開発協会の講師も講座を担当します。